

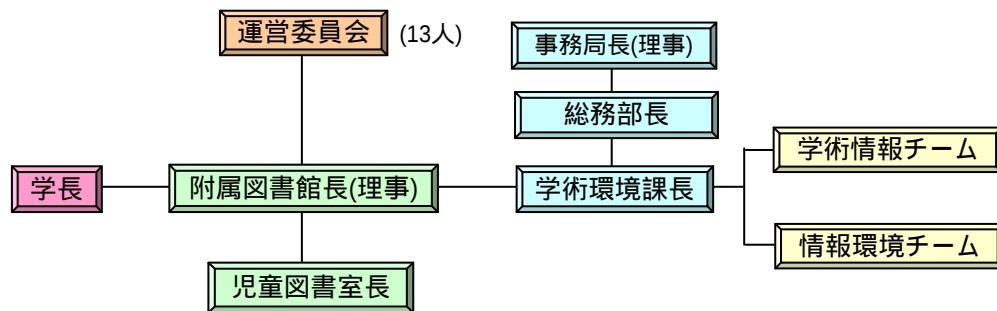
附属図書館概要 2007



鳴門教育大学附属図書館

住所	〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
電話	088-687-6156
ファックス	088-687-6171
電子メール	service@naruto-u.ac.jp
ウェブページ	http://www.lib.naruto-u.ac.jp/

組織・機構



統計

施設・開館時間・貸出条件

平成19年4月1日現在

区 分	施設面積	閲覧 座席	開館時間(授業期間)		貸出条件			
			平日	土・日	学部生	院生・教職員	卒業・修了生	一般
附属図書館	3,137㎡	200	8:45-22:00	11:00-18:00	10冊3週間	15冊1ヶ月	5冊1ヶ月	5冊3週間

サービス

平成18年度統計

区 分	開館日数	入館者数	館外貸出冊数		文献複写相互利用件数	
		計	計	一般(内数)	受付	依頼
附属図書館	325	105,018	32,721	2,743	3,253	2,126

蔵書等

平成19年4月1日現在

区 分	図 書 (冊数)			雑 誌 (種類)		
	和	洋	計	和	洋	電子ジャーナル
附属図書館	265,003	50,603	315,606	4,863	1,052	約3,500

児童図書室

平成18年度統計

区 分	開室 日数	開室時間(授業期間)	入室者 数	室外貸出冊数		登録者数		
		水・土・日・祝		計	一般(内数)	児童	一般	学内
児童図書室	136	13:00-16:00	4,004	6,112	4,884	106	61	58

文庫・コレクション

野地潤家文庫 <http://www.lib.naruto-u.ac.jp/shiryo/noji/>

野地潤家元学長の寄贈文庫で、明治以降の日本の国語教育学文献を網羅的に収集している。

内容は、専門の国語教育学文献だけでなく、文学・教育学・心理学・学校図書館関係を中心とした図書、教科書、綴り方、作文、話し方、児童文学研究、松尾芭蕉を中心とした俳句関係の図書等約2万5千点の教科教育実践学資料として全国に類例を見出せない文庫である。



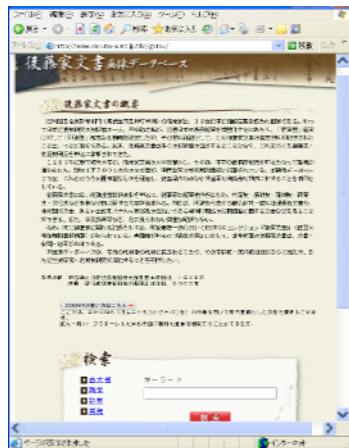
大村はま文庫 <http://www.naruto-u.ac.jp/shiryo/omura.html>

中等国語教育の実践・研究者で生徒の「個」を生かす授業を展開したことで知られた故大村はま氏の寄贈文庫である。

学習の記録、単元学習資料、教育実践・研究関係の文献約1万3千点で構成されており、教科教育実践学研究的貴重な資料となっている。中でも「学習の記録」は世界に類例のない超一級の資料である。



後藤家文書 <http://www.naruto-u.ac.jp/db/gotou/>



旧阿波国名東郡早瀬村（現徳島市国府町早瀬）で代々組頭庄屋を勤めた後藤家が所蔵していた古文書を1987年に鳴門教育大学が資料の大半を購入し、整理が進められた。（1万7,000点余の古文書を収蔵）

後藤家文書には、組頭庄屋関係史料を中心に、後藤家の経営史料をはじめ、村落史・農政史・藩制史・商業史・文化史など多様な分野に関する内容が含まれている。また、名東県新聞など、他に見られない貴重な記録も多い。2007年3月には画像データベース約8万4千点をウェブ上で公開した。



読み聞かせの様子（児童図書室）

児童図書室 <http://www.naruto-u.ac.jp/jidou/jidou.html>

児童図書室は、地域に開かれた図書室として2007年5月に開室20周年を迎えた。すぐれた児童書を地域の方々に提供することが第一の役割であるが、様々な行事を実施しており児童図書室のボランティア学生は、子どもたちのみならず保護者の方々とも交流し、そこで現代の教育と教師に何が望まれているかを理解するようになっている。また乳幼児を持つ保護者が安心して過ごせる場、本の好きな人たちの交流の場として、地域の方々に大いに活用されている。

沿革

年	月	事 項
1981	昭和56	10 鳴門教育大学開学
		附属図書館開設（人文棟内）
1984	昭和59	4 附属図書館業務電算化（第 期，貸出・返却業務） ブックディテクション装置導入
		3 附属図書館竣工
1987	昭和62	4 新館での附属図書館サービス開始
		5 附属図書館児童図書室開室
1990	平成2	2 学術情報センターと接続，NACSIS-CAT開始
1992	平成4	3 目録データ遡及入力完了
		4 NACSIS-ILL開始
1993	平成5	10 「野地潤家文庫」利用開始
		6 附属図書館ウェブページ開設
1996	平成8	8 「大村はま文庫」利用開始
1997	平成9	10 「教科教育実践学（国語科）関係資料データベース検索システム」ウェブ公開
		CD-ROMネットワークサービス開始
1999	平成11	4 コイン式複写機設置 電子ジャーナル利用開始
2000	平成12	3 視聴覚室機器更新
		4 日曜，祝日開館開始（10:30-17:00，休業期は除く）
		3 無線LAN，放送大学受信装置設置
2001	平成13	4 附属図書館運営の基本方針・目標の策定
		9 資料展示「本と生きる」開催（鳴門教育大学20周年附属図書館公開事業）
		1 文献画像伝送システム導入
2002	平成14	4 「鳴門教育大学教育文献情報データベース」ウェブ公開
		8 私費用カラーコピー機導入
		11 鳴門市学校図書館資源共有型モデル地域事業への協力
2003	平成15	4 阿波学コーナー開設
		6 後藤家文書から「名東縣新聞」発見
		3 図書自動貸出装置導入（ABC-ST）
2004	平成16	4 開館時間・貸出冊数・貸出期間の変更（9:00-20:00を8:45-20:30へ， 卒業生・修了生の貸出区分を新設：5冊・1ヶ月以内）
		6 市民のための「図書館利用ガイド」開催
		6 非来館貸出の開始（県内現職教員及び本学卒業・修了生対象）
		5 展示解説「阿波の古地図」開催
2005	平成17	6 特別展「大村はま先生追悼展示会 - 優劣のかなたに」開催
		10 特別展「地図に見る戦前 - 日本とアジア」開催
		12 利用者懇談会開催（学部生，大学院生）
		2 展示会「写真でつづる児童図書室の20年」開催
2006	平成18	3 「地域に開かれた鳴門教育大学の児童図書室 - 20年のあゆみ」刊行
		4 児童図書室の貸出期間を延長（2週間から3週間へ）
		5 特別展「敗者へのいたわり - 松江豊寿と二つの俘虜収容所」開催
		8 教育著作権セミナー開催（独立行政法人メディア教育開発センターと共催）
		3 「後藤家文書画像データベース」ウェブ公開
2007	平成19	4 鳴門市立図書館との協力活動開始
		開館時間の延長（平日20時30分から22時，土・日・祝日17時から18時へ）
		5 特別展「地域に生きる遍路文化」開催